

奈良県感染症発生動向調査還元情報（週報）



奈良県感染症情報センター Nara IDSC
 （奈良県保健研究センター内）

● 今週の概要

- 今週の感染症情報
- 保健研究センターだより第 1 号 New

（調査週）平成 25 年 第 13 週 3 月 25 日（月）～3 月 31 日（日）

奈良県および医療圏別発生状況（奈良県上位 5 疾患）（5 週前からの動向）

| 順位 | 疾患 | 定点当り | 奈良県 | 北部 | 中部 | 南部 |
|----|-----------|------|-----|-----|----|-----|
| 1 | 感染性胃腸炎 | 6.51 | → | → | → | →～↑ |
| 2 | インフルエンザ | 3.36 | ↓ | ↓ | ↓ | ↓ |
| 3 | 水痘 | 0.66 | → | →～↑ | → | →～↓ |
| 4 | A 群溶連菌咽頭炎 | 0.54 | →～↓ | →～↓ | ↓ | ↑ |
| 5 | 咽頭結膜熱 | 0.34 | → | → | → | ↑↑ |

全県の動きと目立って異なる推移（定点当りの変化程度で実数ではない）を太い矢印で示す。

県北部地区概況

報告数は 208 例で、前週報告の 265 例から減少。上位 5 疾患は、①感染性胃腸炎、②インフルエンザ、③水痘、④A 群溶連菌咽頭炎、⑤咽頭結膜熱＝突発性発しんの順。感染性胃腸炎の報告数（114 例）は、やや増加。水痘の報告数（12 例）も、ほぼ横ばい。A 群溶連菌咽頭炎の報告数（9 例）も、ほぼ横ばい。咽頭結膜熱の報告数（4 例）も、ほぼ横ばい。突発性発しんの報告数（4 例）も、ほぼ横ばい。インフルエンザの報告数（61 例）は、半減。また、インフルエンザ定点からの報告は、奈良市 HC 管内；29 例、郡山 HC 管内；32 例の計 61 例、

定点当たりの報告数が2.26だった。奈良市HCおよび郡山HC両管内基幹定点と眼科定点からの報告は、すべてなかった。

(村井 記)

県中部地区概況

報告数は240例で、前週報告の320例から減少。上位5疾患は、①感染性胃腸炎、②インフルエンザ、③水痘、④突発性発しん、⑤咽頭結膜熱=A群溶連菌咽頭炎の順。感染性胃腸炎の報告数(97例)は、ほぼ横ばい。水痘の報告数(10例)も、ほぼ横ばい。突発性発しんの報告数(6例)も、ほぼ横ばい。インフルエンザの報告数(185→115例)は、減少。咽頭結膜熱の報告数(5例)は、ほぼ半減。A群溶連菌咽頭炎の報告数(5例)も、ほぼ半減。また、インフルエンザ定点からの報告は、桜井HC管内;23例、葛城HC管内;92例の計115例、定点当たりの報告数が5.23だった。桜井HCおよび葛城HC両管内基幹定点と眼科定点からの報告は、すべてなかった。

(村井 記)

県南部地区概況

報告数(第12週→第13週)は50例→38例と減少。報告のあった疾患は、①感染性胃腸炎(18例→17例)、②インフルエンザ(19例→9例)、③A群溶連菌咽頭炎(2例→5例)、④咽頭結膜熱(2例→3例)、⑤RSウイルス感染症(4例→1例)、⑤水痘(0例→1例)、⑤突発性発疹(4例→1例)、⑤マイコプラズマ肺炎【基幹定点】(0例→1例)であった。

(柳生 記)

感染症情報センターホームページアドレス
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm>